

QUARTETT

食のカルテット

あそびかた

あそびかたを
2つ紹介するよ

4~5人であそびます。人数が多くなってもあそべますが、むずかしくなります。

あそびかた1

カルテット



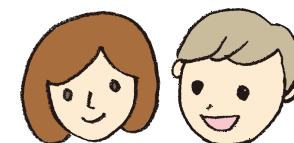
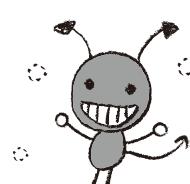
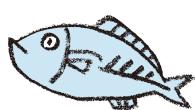
「カルテット(quartett:ドイツ語)」は、イタリア語からきた言葉で、4つ組の意味です。ゲームのカルテットは、ドイツでよく遊ばれているトランプゲームの一組で、4枚の絵札を合わせる遊びです。

- カードをよくきて、全員に全部のカードを配ります。
- カードは8色各4枚の全32枚です。どの色にどのような内容が書かれているか、「01」「02」と書かれたカードに一らん表になっています。
- 同じ色のカード4枚を1組として、できるだけ多くの組をつくります。
- じゃんけんで最初のプレーヤーを決め、そのひとから順に時計回りで進めます。
- プレーヤーは、自分以外の誰かを指名して、自分の必要なカード1枚(例えば「輸入(青)の産地」)を持っているかどうかたずねます。
- たずねられたひとは、自分の手持ちのカードみて、指定されたカードを持っていたら渡さなければなりません。このときうそはつけません。
- カードをもらえた場合は、そのプレーヤーは続けてプレイできます。はずれた場合は、次のプレーヤーにかわります。
- 同じ色4枚が手元にそろったら「カルテット」といって、自分の前にみんなにカードが見えるように4枚並べておいてください。
- 自分の手持ちのカードがなくなてもプレイを続けます。
- 全員手持ちのカードがなくなったら、ゲーム終了。



ゲームの勝ち負け

もっと多くの組を自分の前に置いているひとが勝ちです!!



あそびかた 2

神経 Swing Jack



① かんたんバージョン



- カードをよく切って、すべてのカードを裏返して並べます。
- じゃんけんで最初のプレーヤーを決め、そのひとから順に時計周りで進めます。
- プレーヤーは2枚のカードをめくります。
- 同じ色2枚をめくらせてたとき、そのカード(2枚)がもらえます。
- カードをもらえた場合はプレイを続けることができます。



② くらくらムズカシバージョン

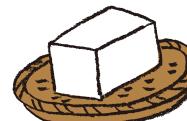
- 2枚のカードをめくる時、1枚めをめくり、もう1枚目のカードをめくる前にそのカードの右上に書かれている単語(例えば「産地」)をみんなに宣言し、めくります。単語が正解ならば2枚のカードがもらえます。

ゲームの勝ち負け

自分が取ったカードの枚数を1枚1点として、点数が多いひとが勝ちです。同色4枚すべてがそろっていたら、4点のところ倍の8点になります。



ゲームのあとふりかえり



カードを各色4枚づつ並べてみなでながめてみましょう。カードの解説にはどのようなことが書いてありますか。カードを獲得したひとが「先生」役になり解説を読み上げてください。より詳しい内容は、リーフレットを見てください。

カルテットのゲームに勝つためには、カードがどのようにプレーヤーの間を動いていたかよく「聞いて」いなければなりませんでした。これは「聞くこと」のコミュニケーショントレーニングにもなっています。

